



日本共産党・金子卓 議員

霞ヶ浦導水事業「取水口建設中止」を求め、流域全漁協、全国の内水面漁協の大団結広がる

漁協の「先祖代々の清流を守りたい」との願いにどうこたえるか 首長と地方自治体のあり方が問われています



民主大宮

NO. 111
2008年12月
日本共産党大宮支部
電話 (52) 2422
FAX (52) 2471

昨年の9月、国交省が一方的に「取水口建設」を通告。「清流と漁業を守り、子や孫に残す」と那珂川漁協が「霞ヶ浦導水取水口建設の中止を求める決議」を発表(昨年の10月)したのを期に関係全漁協のたたかいに広がっています。

今年1月に茨城・栃木の那珂川関係の7漁協が協議会を発足。10月2日には全国内水面漁連宮崎大会で「導水取水口建設中止を国に求める議案」を全会一致で採択。導水事業によるシジ

ミ・魚介類への影響を懸念していた大沼漁協も理事会で「導水事業の中止を求める決議」を採択しました。

取水口建設差止めを求める仮処分申し立て(今年3月・那珂川アユ裁判)の署名は、8万筆を超えて広がっています。

国の大型開発事業に漁業権を持つ漁協が裁判に訴えてきたのは全国初めてです。流域漁協のすべてが団結したのも、全国内水面漁連が国の開発事業中止を求めるのも初めてです。

霞ヶ浦導水事業は、総事業費1900億円(茨城県負担851億円)で2015年完成予定(1993年完成予定が4回の計画変更)となっています。しかし、事業目的である都市

市内循環交通システム検討委員会が11月6日に開催されました。傍聴者の定員は5人でしたが、共産党議員団を代表して金子議員が傍聴、ほか新日本婦人の会から2人傍聴者がありました。

検討委員会(21人で構成)では最初に、委員長に市区長会長の河野さん(大宮・上大賀区長)、副委員長に森戸さん(御前山地区民生児童協議会副会長)を選出。新市内循環交通システム運行までのスケジュール、新市

内循環交通システム基本計画、市民アンケート等について協議しました。

事務所の説明では、12月にアンケートをおこない、来年3月の年度末には基本計画を決定したいとの旨でした。市民アンケートは2000人の市民(男女半々、20〜59歳と60歳以上半々、大宮1100、山方300、美和

・緒川・御前山それぞれ200)を対象としてデマンド型交通システム(予約制の乗合いタクシー)の要望を調査することになっています。

9月議会で金子卓議員が「導水事業」の見解を市長にいただきましたが、「重要な事業である」と現在も認識している」という回答でした。

協議の中で、市民アンケートについて「高齢者、周辺地域も考慮すべき」「交通不便者の意見を聞くことが大事」などの意見が出されました。

アンケートの締め切りは、12月26日です。

デマンド型交通システムとは「国交省東北運輸局のパンフレットから」

予約制の乗合いタクシー方式ともよばれ、路線バス並みの定額料金で、タクシーの様に住民の方が希望する場所から場所までドアtoドアの移動を提供する、新しい公共交通サービスです。廃止の進む路線バスに替わって、地域の新たな足として活用されています。イメージは下図のとおり。

12月議会では、堀江鶴治議員が漁協の反対運動の広がりをのべ、市長に再度質問します。

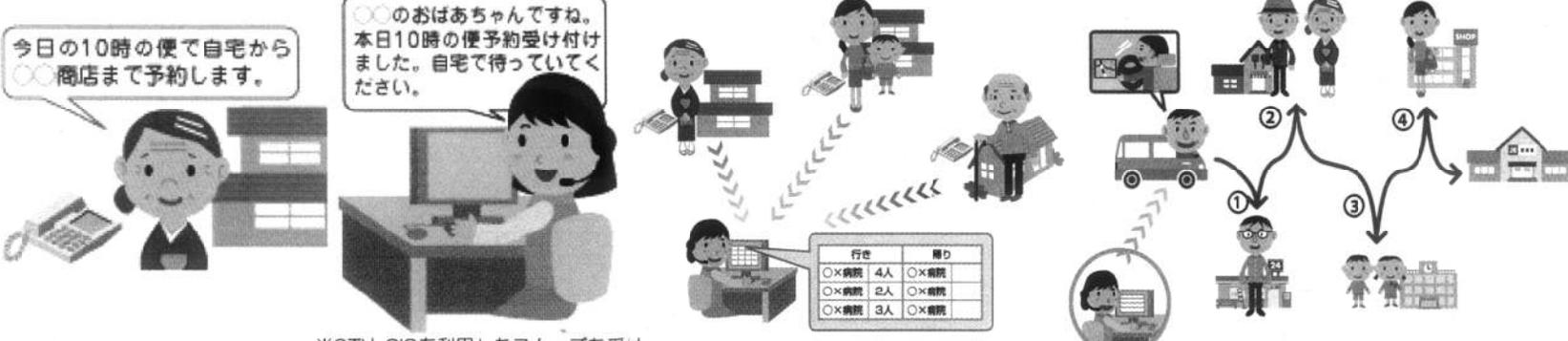
12月議会では、堀江鶴治議員が漁協の反対運動の広がりをのべ、市長に再度質問します。

- 高齢者の気軽な外出や園児・児童の安全な送迎、交通空白地域の解消等により、住民サービス向上を実現
- 地域交通事業者と協業しつつ、交通サービスを統合・効率化して、財政支出の削減を実現
- 商店街との連携によって生まれる、地元住民の地域商店への誘客により、地域の活性化を実現

12月議会の一般質問 (8人が通告)
 11日(木) 3番目 堀江鶴治 議員
 12日(金) 1番目 金子卓 議員
 *開会は午前10時です。傍聴をお願いします。

<利用方法と運行のイメージ>

- ① 利用者は電話で予約します。
- ② オペレータが予約を受け付けます。
- ③ 複数の予約をとりまとめて、送迎する車を決めます。
- ④ 迎えに行く場所と送る場所を確認し、送迎の順番を決め、配車します。



※CTIとGISを利用したスムーズな受付

新しい山方

第6号
 2008年12月
 日本共産党山方支部
 木村 勇
 電話 (57)9478
 堀江かくじ議員
 電話 (56)3030
 金子すぐる議員
 電話 (52)2422

霞ヶ浦導水事業 「取水口建設中止」を求め、流域全漁協、全国の内水面漁協の大団結広がる

茨城3漁協、栃木4漁協

内水面とは 河川・湖沼のこと

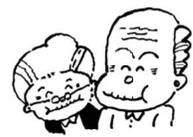
漁協の「先祖代々の清流を守りたい」との願いにどうこたえるか
 首長と地方自治体のあり方が問われています



市内循環交通システム検討委員会が11月6日に開催されました。傍聴者の定員は5人でしたが、共産党議員団を代表して金子議員が傍聴、ほか新日本婦人の会から2人傍聴者がありました。

検討委員会（21人で構成）では最初に、委員長に市区長会長の河野さん（大宮・上大賀区長）、副委員長に森戸さん（御前山地区民生児童委員協議会副会長）を選出。新市内循環交通システム運行までのスケジュール

デマンド型交通（予約制の乗合タクシー）の要望調査アンケートを実施



市内循環交通システム基本計画、市民アンケート等について協議しました。

事務局の説明では、12月にアンケートをおこない、来年3月までに基本計画を決定したいとのことでした。市民アンケートは2000人の市民（男女半々、20歳〜59歳と60歳以上半々）で大宮1100、山方300、美和・緒川・御前山がそれぞれ200を対象としてデマンド型交通システム（予約制の乗合タクシー）の要望を調査する

ル、新市内循環交通システム基本計画、市民アンケート等について協議しました。

事務局の説明では、12月にアンケートをおこない、来年3月までに基本計画を決定したいとのことでした。市民アンケートは2000人の市民（男女半々、20歳〜59歳と60歳以上半々）で大宮1100、山方300、美和・緒川・御前山がそれぞれ200を対象としてデマンド型交通システム（予約制の乗合タクシー）の要望を調査する

ミ・魚介類への影響を懸念していた大沼沼漁協も理事会で「導水事業の中止を求める決議」を採択しました。

取水口建設差止めを求める仮処分申し立て（今年3月・那珂川アユ裁判）の署名は、8万筆を超えて広がっています。

国の大型開発事業に漁業権を持つ漁協が裁判に訴えてきたのは全国初めてです。流域漁協のすべてが団結したのも、全国内水面漁連が国の開発事業中止を求めるのも初めてです。

霞ヶ浦導水事業は、総事業費1900億円（茨城県負担851億円）で2015年完成予定（1993年完成予定が4回の計画変更）となっています。しかし、事業目的である都市

用水確保は「茨城も首都圏も水余り」「中央広域水道（大宮地域も使用）で水道料金引き上げに、那珂川を水源にする水道水に霞ヶ浦の水がブレンドされる」、霞ヶ浦・千波湖浄化は「那珂川は窒素成分が霞ヶ浦より高く浄化に逆行」、利根川・那珂川の濁水対策は「どちらも流域雨量は同じ、過去の濁水は同時期」など破たんしています。

9月議会で金子卓議員が「導水事業」の見解を市長にたてましたが、「重要な事業である現在も認識している」という答弁でした。12月議会では、堀江鶴治議員が漁協の反対運動の広がりをのべて市長に再度質問します。

- 各地での効果
- 高齢者の気軽な外出や園児・児童の安全な送迎、交通空白地域の解消等により、住民サービス向上を実現
 - 地域交通事業者と協業しつつ、交通サービスを統合・効率化して、財政支出の削減を実現
 - 商店街との連携によって生まれる、地元住民の地域商店への誘客により、地域の活性化を実現

12月議会の一般質問（8人が通告）
 11日（木）3番目 堀江鶴治議員
 12日（金）1番目 金子卓議員
 *開会は午前10時です。傍聴をお願いします。

<利用方法と運行のイメージ>

- ① 利用者は電話で予約します。
- ② オペレータが予約を受け付けます。
- ③ 複数の予約をとりまとめて、送迎する車を決めます。
- ④ 迎えに行く場所と送る場所を確認し、送迎の順番を決め、配車します。



※CTIとGISを利用したスムーズな受付